

学生研究発表会プログラム

日時: 2019(平成31)年2月7日(木) 10:30~16:40

会場: 統計数理研究所 セミナー室1(D305)

※ 各発表の制限時間は20分(報告15分、質疑応答5分を目安とする)

10:30~10:40		専攻長挨拶(宮里 専攻長)	
10:40~12:00		セッション1(20分×4)	Page
1	筒井 良行	非自己共役作用素をもつ放物型分布定数系のオブザーバ併合フィードバック安定化 (主任指導教員:宮里 教授、副指導教員:伊藤(聡) 教授)	2
2	張 菱軒	A New Metrics for the Analysis of the Scientific Article Citation Network (主任指導教員:中野(純) 教授、副指導教員:金藤 教授)	4
3	松嶋 優貴	診断法のメタアナリシスにおける“outlying studies”の検出と影響力の評価 (主任指導教員:野間 准教授、副指導教員:伊藤(陽) 教授)	6
4	林 崇弘	実際の原因における保守的な拡大の評価法 (主任指導教員:野間 准教授、副指導教員:逸見 准教授)	8
12:00~13:00		昼食(60分)	
13:00~14:00		セッション2(20分×3)	
5	南 俊匠	A General Framework for Transfer Learning (主任指導教員:吉田 教授、副指導教員:WU 助教)	10
6	草場 穂	生成モデルによる周期表の再発見 (主任指導教員:吉田 教授、副指導教員:WU 助教)	12
7	郭 中梁	Retrosynthetic analysis using Bayesian inference (主任指導教員:吉田 教授、副指導教員:藤澤 教授)	14
14:00~14:15		休憩(15分)	
14:15~15:15		セッション3(20分×3)	
8	高柳 慎一	粒子モンテカルロ法による時間逆方向シミュレーション (主任指導教員:伊庭 教授、副指導教員:川崎 教授、吉田 教授)	16
9	楠本 英子	principal variablesを用いたデータの次元削減における情報量損失の最小化手法 (主任指導教員:伊庭 教授、副指導教員:松井 教授、福水 教授)	18
10	Daniel Andrade	From Statistical to Practical Significance: A Bayesian Approach for Regression (主任指導教員:福水 教授、副指導教員:持橋 准教授)	20
15:15~15:30		休憩(15分)	
15:30~16:30		セッション4(20分×3)	
11	貝淵 響	Alternative semi-parametric GARCH-EVT for risk management in finance (主任指導教員:川崎 教授、副指導教員:志村 准教授)	22
12	蒔田 恵理	発震機構におけるETASモデルの拡張 (主任指導教員:庄 准教授、副指導教員:野村 助教)	24
13	相澤 景	粒子フィルタによるエージェントベースモデルの推定 (主任指導教員:上野 教授、副指導教員:南 准教授)	26
16:30~16:40		閉会 教育研究委員長挨拶(藤澤 委員長)	
	高田 正彬	相関情報を罰則項に導入したスパース一般化線形モデル(欠席) (主任指導教員:藤澤 教授、副指導教員:福水 教授、吉田 教授)	28
	安井 雄一郎	クロネッカーグラフへの拡張に関する考察(欠席) (主任指導教員:中野(純) 教授、副指導教員:山下 教授)	30

※外部からの参加の際には受付に寄って詳細をご確認ください。